

なぜ薪ストーブ?



今、話題の薪ストーブ。薪ストーブはなぜ暖かいのでしょうか。それは電気やガスストーブとは違って、輻射熱のおかげです。薪ストーブは薪の燃焼で暖められた炉から放射される輻射熱で直接人の身体や部屋を温めます。また、煙突が薪を燃やした煙を外に出すため換気の役割も果たし、室内の空気も汚しません。

埼玉県の山は

埼玉県の森林面積は121,260haで、全県面積の約32%を占め、県土保全・水資源のかん養・保健休養など貴重な役割を担っています。私有林は77.6%、国有林は10%の割合となっています。そのうち人工林は49%と森林面積の約半分を占め、ほとんどスギ、ヒノキなどの針葉樹林からなっています。

林業の現状

人工林は、人が手を入れて育てていかなければなりません。下草刈りや枝打ち、間伐などの手入れが必要になります。間伐は木が大きくなるまでに何度か行われますが、現在の市場価格では間伐材の搬出等にかかる費用が十分に賄えません。そのため山から木を運び出す人がいなくなり、林業への従事者が減って山が衰退していきます。これが、現在、日本の林業が抱える大きな問題です。

森林バイオマスエネルギー

細すぎたり、曲がっていて高く売れないような間伐材は山に残されたままになっています。このような未利用材をエネルギーとして活用する森林バイオマスエネルギーに最近注目が集まっています。森林バイオマスエネルギーは、森林資源から電気や熱を作り、クリーンで枯渇しない再生可能エネルギーといわれています。

間伐材を使おう

森林バイオマス由来の資材は、チップ、薪、ペレット等があり、未利用材を資源として利用することができます。特に薪は、生産時に使われるエネルギーが少なく、加工が容易です。間伐材の利用方法として薪を積極的に消費することで、山で働く人の収入を増やし、森林や林業の再生に貢献できます。

薪ストーブの設置

選び方

できれば二次燃焼装置がついたエネルギー効率の高い薪ストーブを選びましょう。

設置

信頼できる専門知識を持った販売店に依頼しましょう。

薪の調達

薪は乾燥したものを使います。乾かすのに針葉樹薪でも数か月はかかりますので早めに薪の調達をしましょう。

● 使用時のポイント

- 自動あるいは手動で空気量を調整して、ストーブの温度をコントロールしましょう。(空気量が多すぎると燃焼が過剰になり、少なすぎると不完全燃焼をおこします)
- ダンパーや灰受け扉を開けたまま燃焼すると、ストーブを傷めます。

● ススが多い場合のチェック

- ① ストーブの二次燃焼装置に不具合がないか⇒二次燃焼室のチェック
- ② 薪が湿っていないか。
火室に入れる薪の量が少なすぎないか。
薪にしっかり火がまわっていないのに空気を絞りすぎているか。

針葉樹の薪

針葉樹薪は高温になってストーブが傷む、ススが多くて煙突が詰る、火持ちが悪いなどの声が聞かれます。しかし、空気量の調整ができる二次燃焼装置の付いた最新の薪ストーブなら、針葉樹の薪でもよく乾燥していれば十分に使えます。

メリット 火付きがよく、発熱量が高い。乾燥するのが早い。

デメリット あまり火持ちが良くない。

煙

近所の迷惑にならないよう、煙や匂いに気をつける

屋根・壁

雨漏りが無いように煙突の穴をあける

煙突

断熱2重煙突を導入なるべくまっすぐに立ち上げる

※建築基準法、消防法、地域の火災予防条例などの法令に基づいて設置する

フェンスの設置

ストーブの表面は大変熱くなるので、専用のストーブフェンスを取り付ける

